

### (3) 都市づくりの基本目標

(2)で設定した理念と原則を踏まえた今後の都市づくりの取り組みは、既存の都市基盤や良好な自然的環境などの要素を資源として有効に再生・活用しながら、生活の質を高め、都市の魅力と活力を向上させることに向けて展開される必要があります。

そして、具体的にこのような取り組みを進めていくうえでは、地域の特性を踏まえたきめ細かな視点が求められる一方で、個々の取り組み相互の連携や、都市全体の魅力と活力の向上へとつなげていく視点も求められます。

以上の観点から、都市づくりの取り組みに関する基本目標を、二つの視点から以下のとおり定めます。

a : 都市全体の視点から

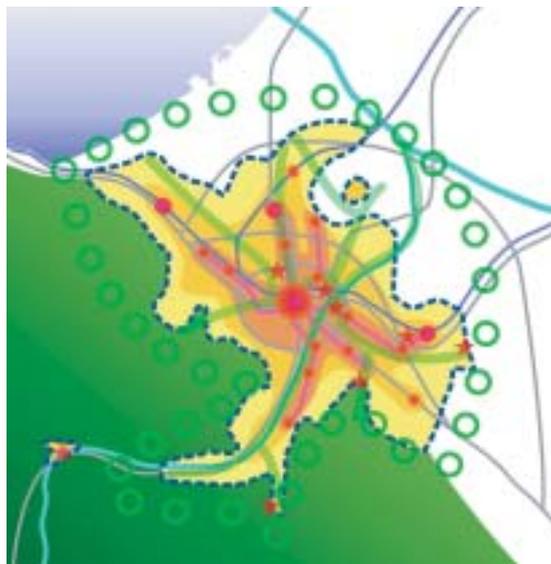
#### 全市的な都市構造の維持・強化

ゆたかな都市生活と機能的な都市活動を維持しながら全市の均衡ある発展を図るため、拠点、大量公共交通機関\*<sup>22</sup>、市街地の外の自然環境など、骨格要素からなる都市構造を維持・充実していくこととし、その都市構造を以下のように設定します。

外延的拡大の抑制を基調とした市街地に、札幌の魅力と活力を高めることを先導するさまざまな拠点を効果的に配置し、それぞれの機能の向上を図る。

ゆたかな都市生活の場の創出と都市個性の伸長に向け、市街地内外における魅力的なオープンスペースのネットワークの形成を図る。

さまざまな拠点の機能向上を支えることに加え、快適さやわかりやすさ、歩行者空間の創出などにも配慮した交通体系を確立する。

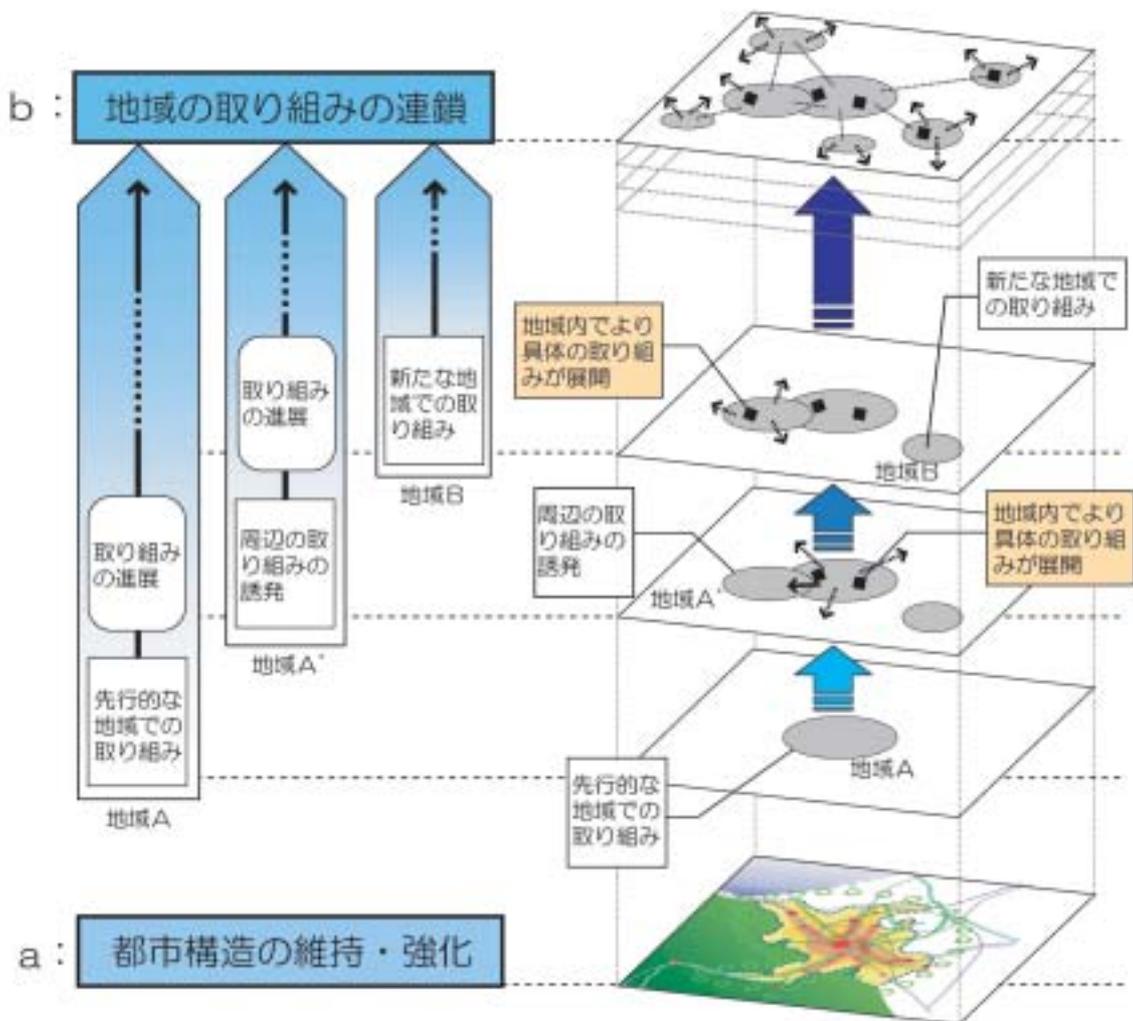


\*22 大量公共交通機関 ある程度まとまった旅客をほぼ定期的に特定の路線を設定して輸送する公共交通機関で、ここでは地下鉄、JRを指す。

b : 身近な地域の視点から

## 地域の取り組みの連鎖

地域の取り組みを積み重ねることにより、都市全体の魅力と活力を高めていきます。  
個々の地域の取り組みは、都市全体の基本目標との整合や周辺地域への影響、地域特性の尊重などの視点を踏まえつつ、市民・企業・行政等の協働によって、課題の把握から目標の設定、目標実現に向けた道筋の明確化へと継続的に進められるべきものです。  
また、個々の取り組みが地域の内外での新たな取り組みを誘発し、それらが相互に関係づけられながら連鎖的に展開されることが重要です。



※「地域」は、解消すべき課題の広がりや目標の内容、住民活動の熟度などに応じて多様に設定し得るものであり、一律の区分を前提とするものではありません。また、個々の地域における取り組みのイメージを「5 取り組みを支えるしくみ」で整理しています。